

水稻生育情報 (No.4)

令和元年6月28日
 県西農林事務所 経営・普及部門
 (筑西地域農業改良普及センター)
 TEL:0296-24-9206

【生育概況】

水稻の生育期間の気象は、平均気温は平年より1℃高く、日照時間は平年より37%多く、降水量は平年より8%多くなっています。

水稻の生育は例年より草丈は低く、莖数は多く、葉色は濃くなっており、幼穂形成は若干遅れていると見込まれます。

表1 水稻定点調査結果(6月28日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	莖数 本/m ²	葉色		幼穂長 mm
					葉色板	SPAD値	
筑西市	5月1日	36	65.1	520	4.6	39.7	—
一本松	(5月2日)	(60)	(69.5)	(605)	(4.1)	(34.0)	(0.7)
下妻市	5月1日	47	64.2	585	4.2	38.6	—
加養	(5月1日)	(47)	(68.5)	(544)	(4.1)	(34.9)	(0.3)
桜川市	5月17日	65	45.9	663	4.5	39.6	—
元岩瀬	(5月14日)	(59)	(61.2)	(496)	(4.1)	(35.8)	0
桜川市	5月4日	50	58.9	553	4.4	36.6	—
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(65.7)	(474)	(4.3)	(37.4)	0

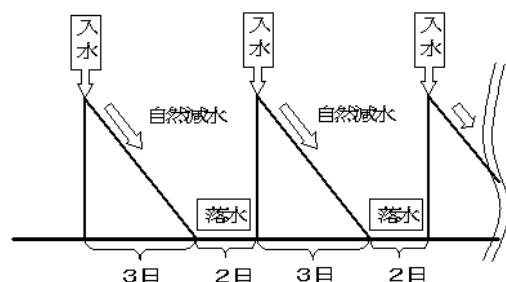
()内は平成26~30年の5カ年平均値

【今後の管理のポイント】

1 中干し後の水管理～間断かん水～

5月上旬移植コシヒカリは7月上旬に幼穂形成期に入りますので、中干しを終えて間断かん水を開始してください。

中干しを行った稲の根は、畑作物の根に似た形質となり、常時湛水で管理すると、根腐れなどが発生してしまいます。間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力を維持することができます。右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、田面を指で触れると湿り気を感じる程度です。



2 追肥時期について

「コシヒカリ」の適正な追肥時期は出穂前15日頃となります。幼穂長が10mmになった時期が出穂18日前、30mmになった時期が出穂15日前となります。

幼穂を調べるには生育が中庸な株の主程を使用します。異なる株から5本程度の幼穂長を計測し平均値をとります。右図を参照に行ってください。

追肥量は窒素成分で1~2kg/10aです。ただし、出穂20日前頃(幼穂長4~6mm)、草丈が80cm以上で葉色が4以上の時は倒伏の恐れがあるので、追肥は避けるようにしましょう。

